# 今月の本

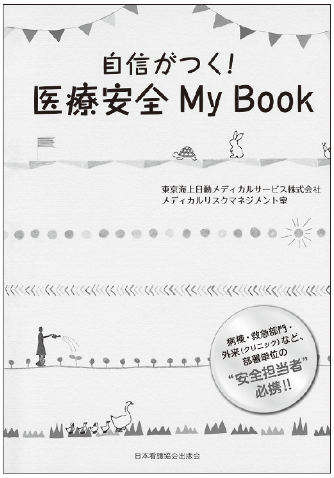
# BOOKS

## 看護教員ハンドブック

編：古橋洋子
A5判・152ページ
定価2,520円（本体2,400円＋税5%）
医学書院（TEL.03-3817-5600）

「さまざまな背景を経て教員となった方が，実務で迷ったときにすぐ手に取り確認できるハンドブック」（「まえがき」より）。現場の“あったらいいな”が本書に結実した。実践の場で求められる法令や指針，理論についてより多く，簡潔にまとめられているため，現場にあってすぐに疑問を解消し，次なる一歩につなげることができる。巻末には，関連法規を収載，索引，コラムも充実。

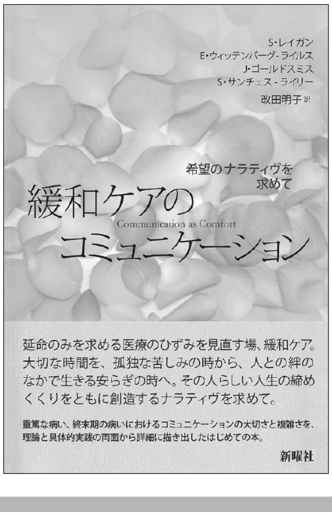
## 自信がつく！ 医療安全 My Book




著：東京海上日動メディカルサービス株式会社
　　メディカルリスクマネジメント室
A5判・159ページ
定価1,785円（本体1,700円＋税5%）
日本看護協会出版会（TEL.03-5778-5640）

一般社会の危機管理，紛争解決のプロであるメディカルリスク担当部署が総力を結集した，医療安全のためのガイドブック。医療現場に潜むリスクを，その環境や人的要素から指摘し，事故対応の実際，そしてコミュニケーション能力を高めるための効果的グループワークの方法を伝授する。医療安全研究にも有用な1冊。

## 希望のナラティヴを求めて 緩和ケアのコミュニケーション




著：S.レイガン・E.ウィッテンバーグ−ライルス・J.ゴールドスミス・
　　S.サンチェス−ライリー
訳：改田明子
B6判・336ページ
定価：3,780円（本体3,600円＋税5%）
新曜社（TEL.03-3264-4973）

現代アメリカの，主に末期がんを生きる人たちの物語（ナラティヴ）を集め，そこに医療者の視点，家族／介護者の視点，医療チームの視点が織り交ぜられる。よりよいコミュニケーションに包まれて終末期を生きること，そのもたらす救いを，緩和医療にかかわるすべての人の声の重なり（ポリフォニー）が教えてくれる。

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2013


0022-8370/13/¥360/論文/JCOPY

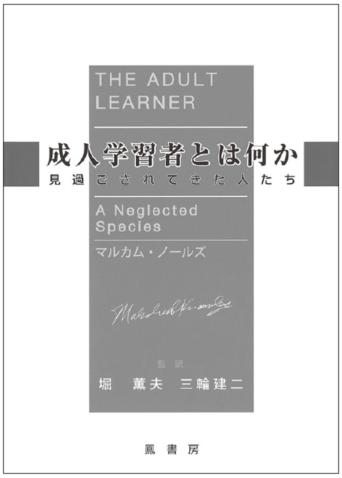
2026/09/23 22:43:51

## がん疼痛緩和の薬がわかる本

著：余宮きのみ
A5 判：248 ページ
定価 2,310 円（本体 2,200 円＋税 5%）
医学書院（TEL.03-3817-5600）

看護職待望の，がん疼痛が「わかる本」の登場。がんの疼痛緩和の基本は薬物療法＝オピオイドという認識は，一般にも広がりつつある。しかし，まだまだ麻薬＝怖い薬のイメージも強く，医療関係者のあいだでもその使用にためらいや迷いがある。本書は，がん疼痛と薬について，「こんなときどうするの？」に応えてくれる。

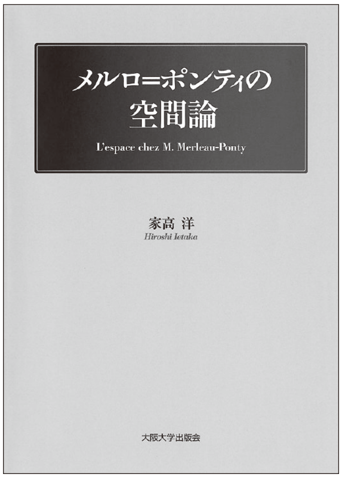
## 成人学習者とは何か
### 見過ごされてきた人たち




著：マルカム・ノールズ
監訳：堀薫夫・三輪建二
A5 判：353 ページ
定価 3,780 円（本体 3,600 円＋税 5%）
鳳書房（TEL.03-3483-3723）

大人の学びの体系＝アンドラゴジーの概念を提唱したマルカム・ノールズの “The Adult Learner”。生涯学習を自らに課す多くの専門職たちに，「教える・教わる」の枠を超えた成人学習の醍醐味を伝える。「学習をとおしての人間の成長という基軸にこだわり，そこから組織の発展を構想したノールズの論は，今日だからこそあえて，われわれに勇気を与えてくれる」（「解説」より）。

## メルロ＝ポンティの空間論




著：家高洋
A5 判：244 ページ
定価 3,990 円（本体 3,800 円＋税 5%）
大阪大学出版会（TEL.06-6877-1614）

看護研究，とりわけ現象学的研究においては，メルロ＝ポンティの『知覚の現象学』を抜きに考えることはできない。人を，その実存の知覚をもつ主体でありながら世界的存在として捉え，存在の根源に迫る現象学的手法は難解でありながら，尽きせぬ魅力がある。本誌にて好評連載中の著者が，メルロ＝ポンティの見る「奥行き」すなわちその空間論を提出し，人の存在に迫る。



2026/09/23 22:43:51